

松浦材洲 まつら 俳人。文政十年津張國生れ、大正三年十一月二十一日没（八二七一—九二四）。舊姓宮戸、諱有秀、通稱九右衛門。別號は松園、徂康、材洲園。祖母の實家を繼ぐ。俳句を帯月庵芝石、暮雨庵而石等公學ぶ。維新後、三河の佐野蓬宇、出雲の山内曲川と共に、西國三名家と曰ふ。

著書 マツラ 『月と梅』尊施（内題「月と梅」）鳳材合著、大正七年仲秋、山梨・桑原道貞刊）等。